

令和8年度までの目標	国語		算数	
	自校A B層の割合	44.0%	自校A B層の割合	33.8%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 学習の「めあて・ねらい」と「まとめ・振り返り」を必ず行う。 学習規律を徹底する。 タブレット端末の効果的な活用を目指し、研修の機会を設定したり、教員同士での情報交換をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 週に1度、SUT（スキルアップタイム）を活用し、計算や漢字の基礎基本の定着を図る。 低学年からの積み重ねを大切に、当該学年の学習内容の定着を徹底する。 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期の家庭学習週間における家庭学習目標時間（学年×10+10分）
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> C評価の児童に対して、補習等を行い、次の授業までに学習内容の定着を図る。 学習規律においては、アンケートを実施し、結果を基に重点項目を定め、学校全体で改善意識をもって取り組む。 ICT支援員の効果的な活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> CD層に対して、放課後補習教室と連携し、支援を行う。 ドリルパークを活用し、ベーシックドリルテストの結果を基に、苦手な問題練習に取り組む。 低学年において、教員を加配し、少人数算数を実施。きめ細かく一人一人の学習状況を把握し、指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 達成率90%以上の児童を朝会で表彰、100%達成者には賞状を渡すなどし、意欲をもたせる。 ドリルパークに家庭学習や長期休業中に課題に出す。
成果指標	学習規律におけるアンケート（児童・教員）、各項目達成率 90%以上	東京ベーシックドリルの診断テスト7割達成者 60%以上	家庭学習週間における家庭学習目標時間達成率 ・保護者向け、学校評価において項目『「あなたのお子さんは、家庭で「10分×学年+10分」の勉強に取り組んでいますか。』AB評価率 90%以上